



株式会社和建

ア

ル

ミ

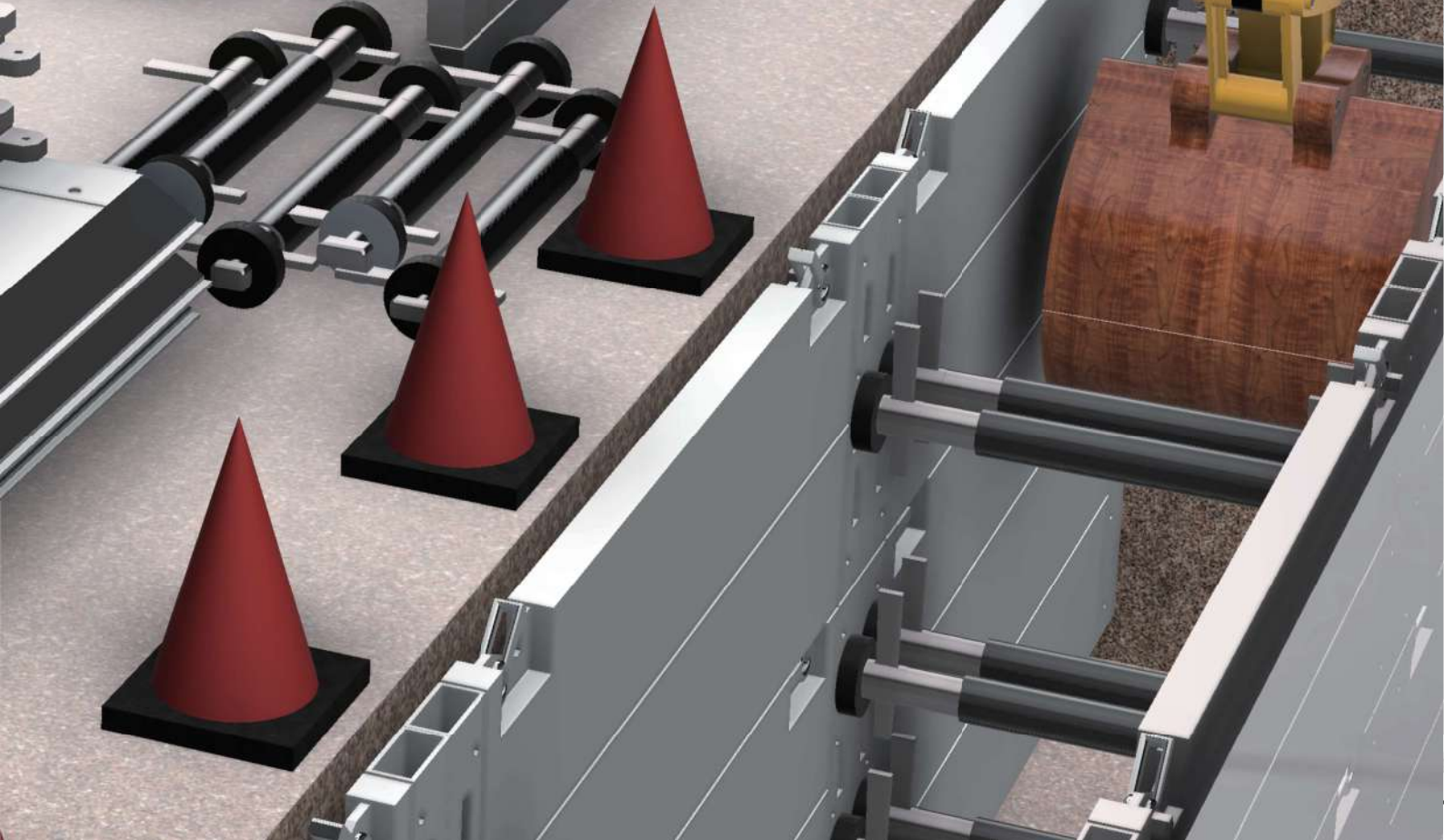
土

留

パ

ネ

ル



□アルミ土留パネル

安全

アルミ土留めパネルは、特殊アルミ合金を加工、熱処理と組合せ強度を高め、耐圧テストを重ね、十分な強度を保持し、安全性が確認されています。本体の組み立ては地上でできますから、事故防止に大きく貢献します。

信頼

アルミ土留めパネルは、アルミのトップメーカー日軽金アクトが精錬から、押出し組立まで一貫生産し、高度な品質水準を確保し全量完璧な検査工程を経て出荷されますから、安心してお使いいただけます。

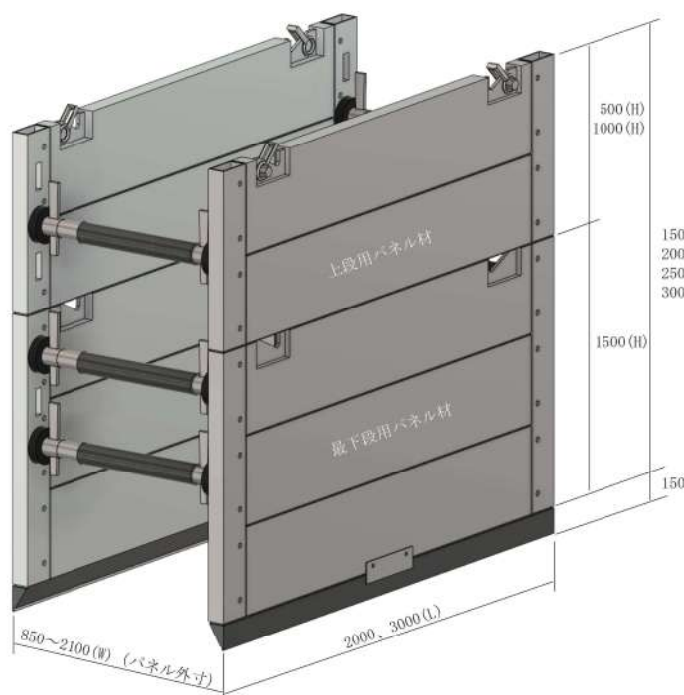
軽量

アルミ土留めパネルは、従来の鉄製に比べ、非常に軽量で架設が簡単にできます。作業性が大巾に向上し、人的疲労度を最小限に食い止める事ができます。

省力

設置作業、撤去作業がスピーディーに作動し、大巾な人件費の削減ができます。

□仕様



| 深さ | 組み合わせ | 連結ボルト | サポート本数 | 長さ・重量(kg) | |
|--------|----------------------------|-------|--------|-----------|-------|
| | | | | 2.0mL | 3.0mL |
| H=1.5m | 1.5m(1.5mH=1段) | なし | 4本 | 270 | 360 |
| H=2.0m | 2.0m(1.5mH+0.5mH=2段) | 4個 | 6本 | 363 | 477 |
| H=2.5m | 2.5m(1.5mH+1.0mH=2段) | 4個 | 6本 | 421 | 563 |
| H=3.0m | 3.0m(1.5mH+1.0mH+0.5mH=3段) | 8個 | 8本 | 514 | 680 |

□パネル

軽量で突起の少ないフラットな構造と、吊りシャックルのパネル一体化で取り扱いやすく、土圧に対して十分な強度を有した、機能と安全性に優れた設計になっています。

| パネル型式 | パネル長さ (mm) | 高さ (mm) | 適用 | パネル厚 (mm) | エンド材厚 (mm) | 重量 (mm) | 備考 |
|----------|---------------|------------|---------|--------------|---------------|------------|------------------|
| ADP 2005 | 2000 | 500 | 上段用 | 65 | 82 | 35 | |
| ADP 2010 | | 1000 | 上段用・中段用 | | | 64 | |
| ADP 2015 | | 1500 | 下段用 | | | 113 | カッティング プレート付き |
| ADP 2505 | 2500 | 500 | 上段用 | | | 41 | |
| ADP 2510 | | 1000 | 上段用・中段用 | | | 76 | |
| ADP 2515 | | 1500 | 下段用 | | | 136 | カッティング プレート付き |
| ADP 3005 | 3000 | 500 | 上段用 | | | 47 | |
| ADP 3010 | | 1000 | 上段用・中段用 | | | 90 | |
| ADP 3015 | | 1500 | 下段用 | | | 158 | カッティング プレート付き |

□サポート エクステンション

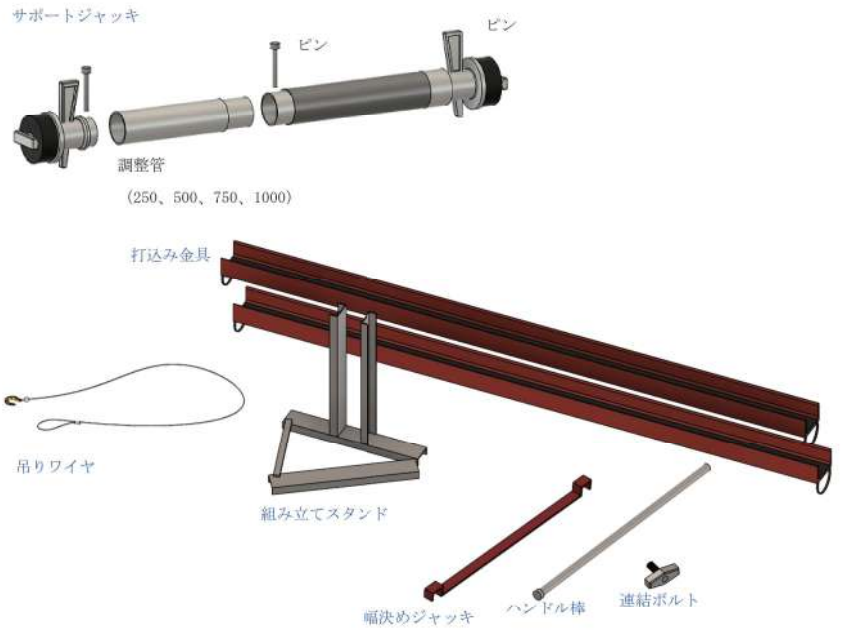
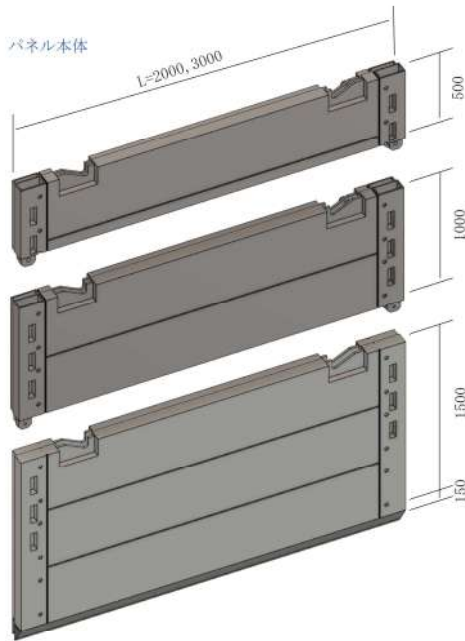
軽量で取り扱い易く、伸縮調整も容易です。
バックル方式の採用により突起の少ない構造と、サポート一体型ですので取付、取外しも楽にできます。



ピンの着脱だけで装着が可能です

| 型式 | 調整管 | パネル外寸適用範囲 (mm) | 重量 (kg) |
|----------------|------|----------------|---------|
| ADS-110 | | 850~1100 | 11 |
| ADS-110+AJ-25 | 250 | 1100~1350 | 13 |
| ADS-110+AJ-50 | 500 | 1350~1600 | 14 |
| ADS-110+AJ-75 | 750 | 1600~1850 | 15 |
| ADS-110+AJ-100 | 1000 | 1850~2100 | 16 |

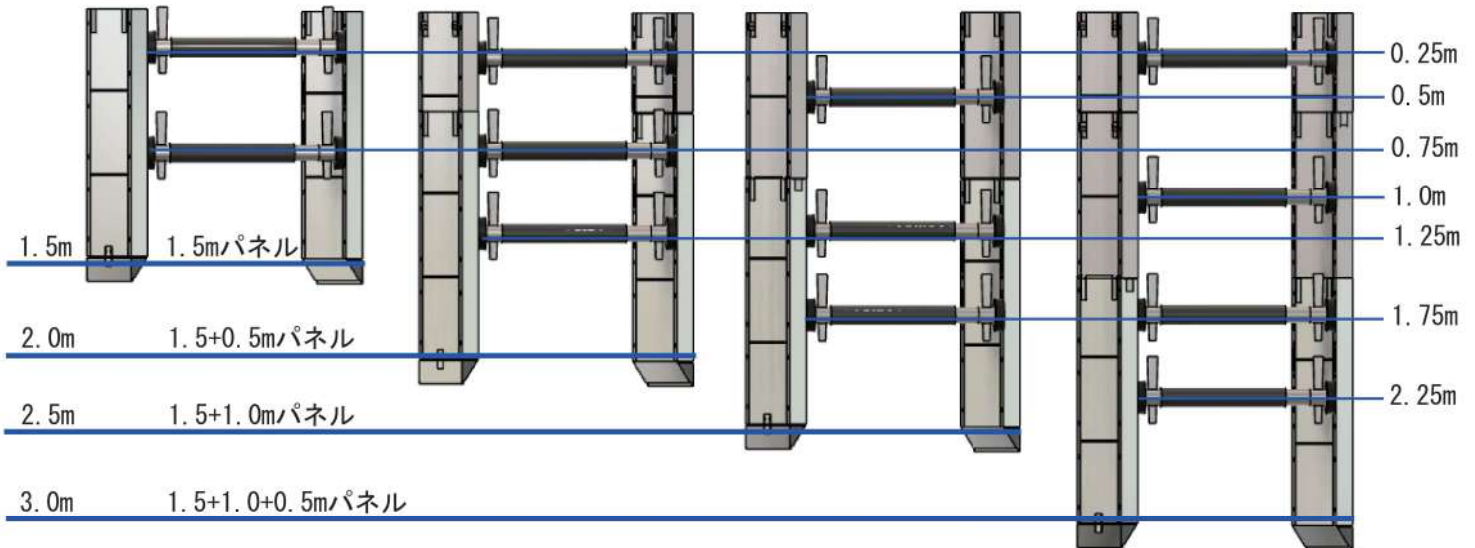
□ 部品一覧



□ 掘削深度 標準サポート位置

掘削深度

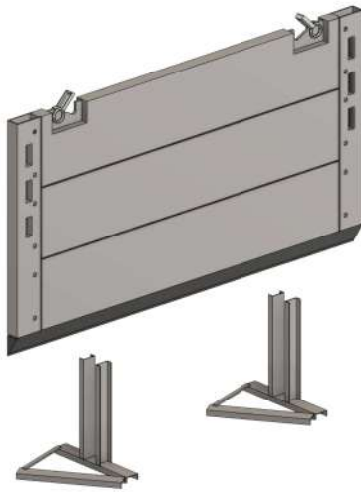
設置深度



⚠ 安全上の注意

- 設計条件（掘削深度、溝幅、土圧等）を考慮の上、機材の選定、切梁位置の選定を行い、許容強度内でご使用ください。
- 掘削深度は、設定範囲3mまででご使用ください。
- 施工時には労働安全衛生規則を厳守してください。
- サポートは縦横とも、隣接するものは逆向きとなるよう、セットしてください。

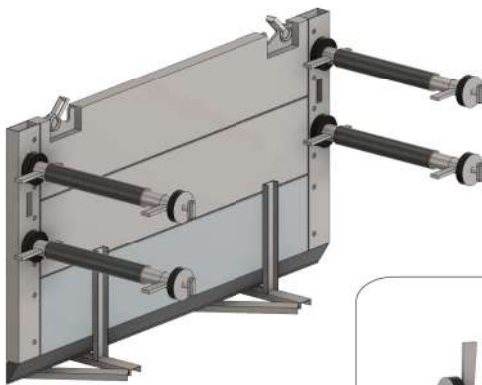
□ 組立て手順



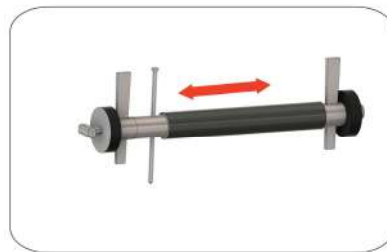
スタンド(2台)を組み立て、最下段パネルを差し込む。

※パネルが転倒しないことをご確認ください。

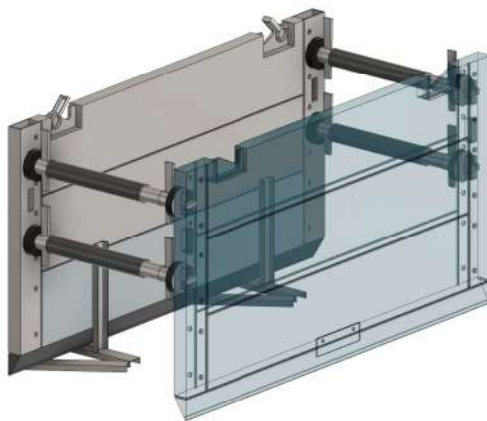
1



パネル所定位置に切梁4本をセットし、掘削幅に合わせてハンドル棒を回して、切梁寸法を調整する。



2



反対側にもう一枚の最下段パネルをセットし、フック部をパネル側所定穴に差し込む。

→フック部をパネル長穴に入れ、クサビを90°回す。

→クサビを叩き込み、パネルをロックする。



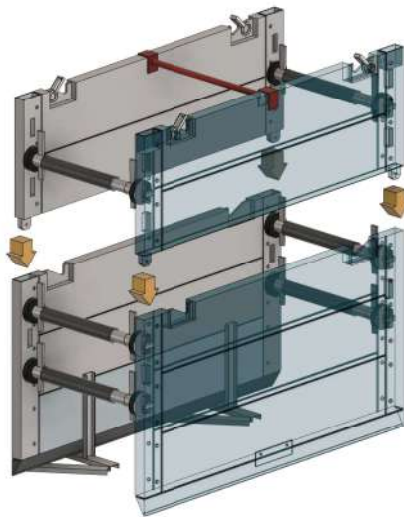
3



同じ要領で上段パネルを組み、パネル上部に幅決めジャッキをセットし、フック付きワイヤーをパネル上部シャックルに取り付け(4点吊り)、上段パネルユニットを下段パネルユニットの上に差し込む。

※フックとシャックルが間違いなく取り付けられていることをご確認願います。

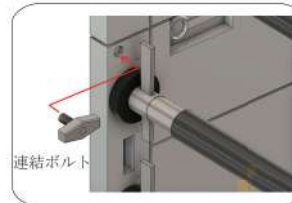
4



連結ボルトをエンド材ジョイント部にねじ込み固定し、ユニットを吊り下げて掘削溝に投入する。

(2段一緒に建込む場合)

※連結ボルトは必ず緩みなく固定されていることをご確認願います。



5



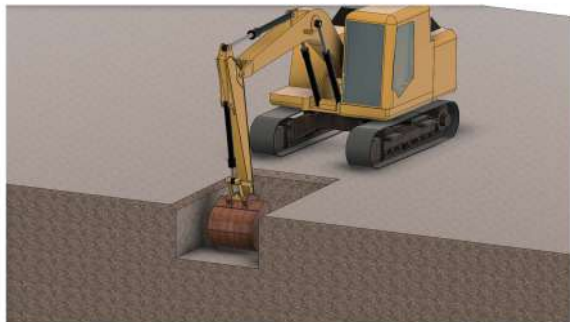
吊りワイヤーを外し、両側上部に打込みカバーを装着する。

6

⚠ 安全上の注意

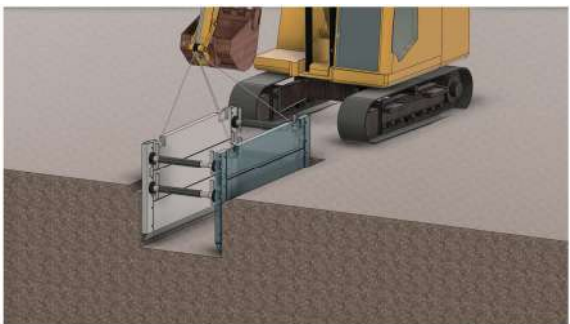
- 吊り上げ、吊り下げの際には必ず純正のワイヤをご使用ください。また、変形、亀裂等がないことをご確認願います。
- 組み立て、建込み時には各部材が転倒する範囲には絶対に立ち入らないでください。
- ご使用前には必ず各部材、部品の破損、変形、ゆるみ等のチェックを行い、異常のある物は使用しないでください。
- 本製品の改造はおやめください。
- 組立ては必ず平坦で硬い地盤を選んで行ってください。

□ 建て込み要領手順



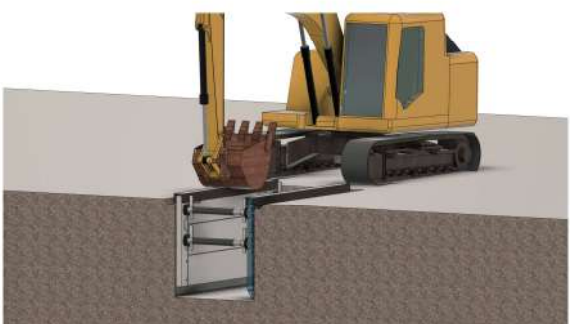
深さ50cm～1m程度の予堀をする。

1



吊具フック付きのバックホウで、組み立てたユニットを吊り、予掘りした穴に下ろす。設置後、吊具を外す。

2



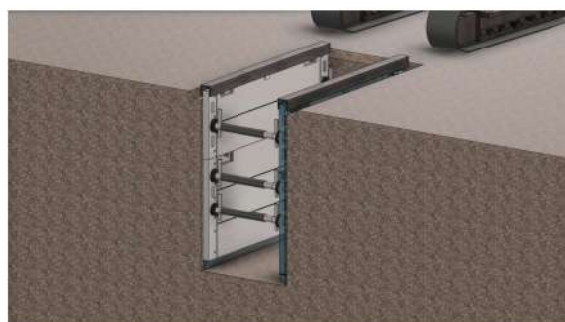
両側上部に打込みカバーをセットする。(組立手順6参照)
バックホウで掘削しながら、バケット腹部で打込みカバー部を均等に押込む。

3



打ち込みカバーを外し、二段目のユニットを差し込み、パネル連結ボルトで固定する。
手順3と同様に、両側上部に打込みカバーを差込み、左右打込みカバーを均等に押込む。

4

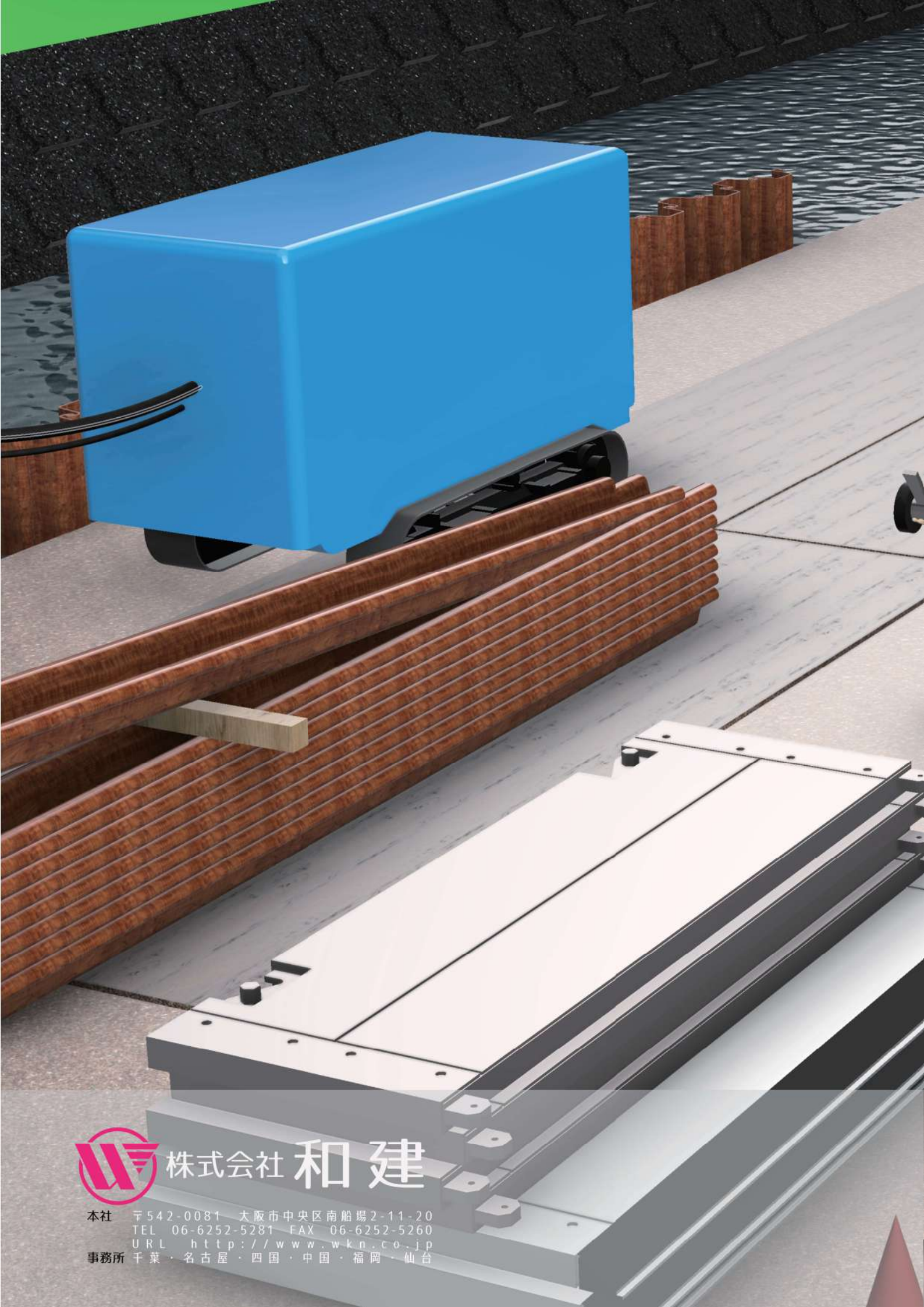


所定の深さまで押込みが完了したら、連結するユニット設置作業を繰り返す。基礎工、配管設置後、所定の高さまで埋戻しを行う。吊具を取り付け、トラッククレーンでユニットを引き抜く。

5

⚠ 安全上の注意

- 施工時にパネルと掘削溝の間に隙間があるときは必ず裏込めを行ってください。
- 建込み時には必ず切梁端部クサビが垂直に緩みがなく打込まれている事をご確認願います。
- 建込み時には必ず隣接するパネルが密接するように施工してください。
- パネルの押込み時には必ず純正打込みカバーを使用しバックホーによる直接の打撃をしないでください。



株式会社 和建

本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-11-20
TEL 06-6252-5281 FAX 06-6252-5260
URL <http://www.wkn.co.jp>
事務所 千葉・名古屋・四国・中国・福岡・仙台